



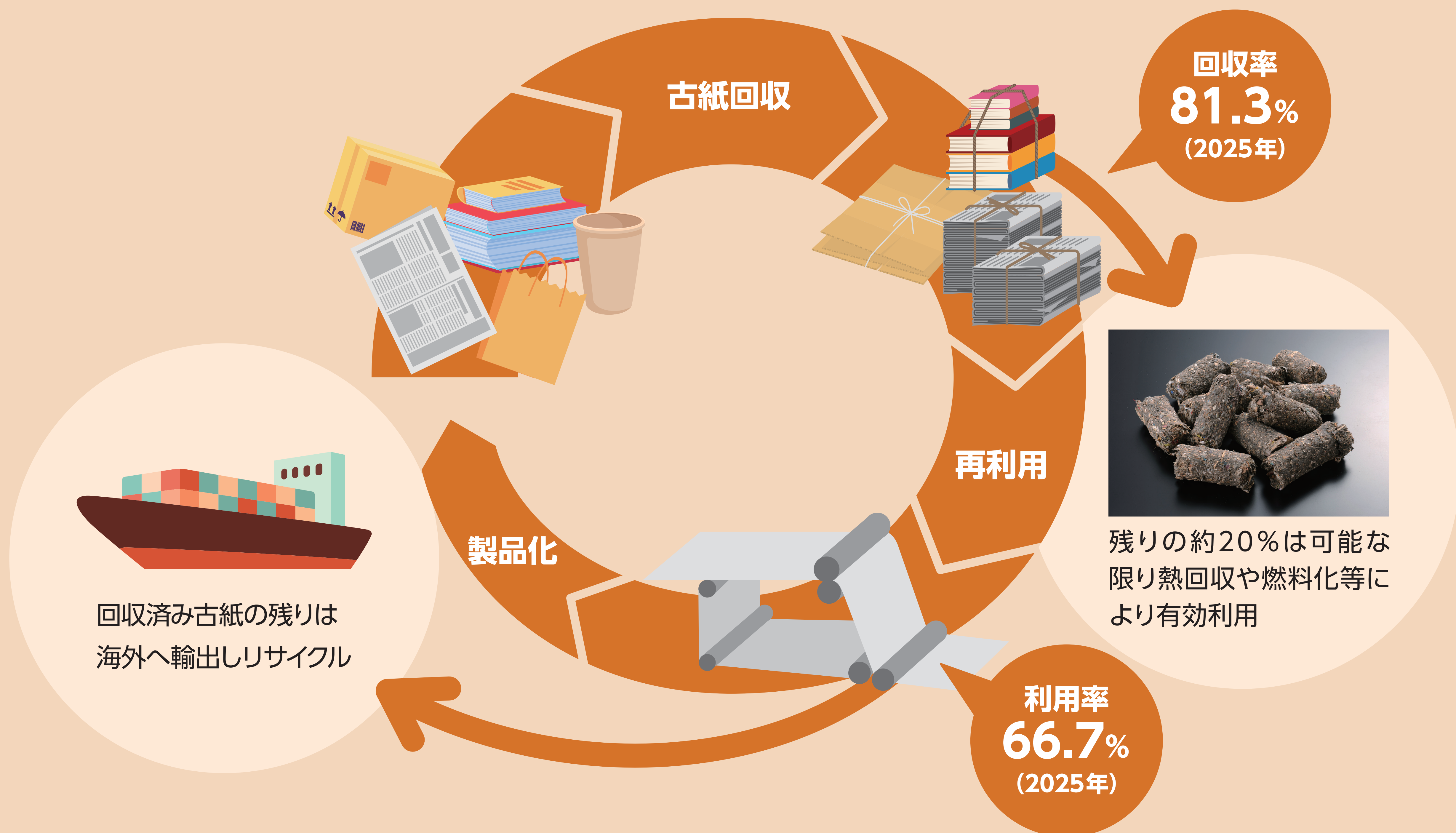
紙は結局ごみになってしまうから、
使わない方がいいんじゃないの？

紙の大部分は リサイクルされています。



確立したリサイクルシステムにより、 日頃使っている紙の大部分はリサイクルされている

製紙産業において、紙のリサイクルが本格的に行われるようになったのは戦後1950年代からです。
1970年当初に40%弱であった**古紙回収率**は、2025年に**81.3%**と**2倍**になり、
1970年当初に34%程度であった**古紙利用率**は、2025年に**66.7%**と、**いずれも高い水準**に達しています。



皆さんのお家や職場で不要になった、紙の箱やチラシ、紙の芯などは、
「雑がみ」という、リサイクルができる大切な資源。

**つい、燃えるごみに入れてしまう中にも、リサイクルできる資源がまだまだ
あります。**

今日から、明日から、できるところから、一緒に分別をしていきませんか？



(公財) 古紙再生促進センターHP ▲



今まで燃えるごみに入れてしまっていた、チラシ、ラップや
トイレットペーパーの芯、紙袋、包装紙、ダイレクトメール…
資源を燃やしてしまっていたなんてもったいない！
これからはちゃんと分別しよう！

